

平成30年度 指定管理者施設管理評価シート

		<b>部課名</b>	福祉部高齢福祉課	
<b>施設名称</b>	18 東京都台東区立あさくさ高齢者在宅サービスセンター	<b>指定管理者</b>	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
<b>選定方法</b>	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	<b>指定期間</b>	H27. 4. 1	～ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区浅草4-26-2 [規模] 延べ床面積 4,588.35㎡の内360.52㎡ 鉄筋コンクリート造地上5階地下1階のうち5階の一部
(3)	[委託事業] ①通所介護・認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等）②介護予防通所・介護予防認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・生活相談等）（定員 一般型デイサービス：40名、認知症対応型デイサービス：12名） [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）8時30分～18時15分
(6)	[人員体制] 13名 （内 訳）生活相談員（2）、ケアワーカー（短6）、看護師（1）、その他（アルバイト4） （前年増減）なし

2. 予算決算		28予算	28決算	29予算	29決算
収入	委託料（指定管理料）	6,246,000	6,246,000	6,228,000	6,228,000
	利用料金収入	111,892,000	116,370,328	111,470,000	106,602,606
	その他収入（雑収入）	0	0	5,549,000	28,732
	計	118,138,000	122,616,328	123,247,000	112,859,338
支出	人件費	67,718,000	76,260,320	72,789,000	80,578,887
	光熱水費	12,557,000	9,744,397	11,269,000	9,081,607
	維持管理費（委託料・賃借料）	21,503,000	18,427,913	21,201,000	18,796,162
	修繕費	1,836,000	1,558,980	1,950,000	679,608
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（ファイナンス・リース債務の返済支出）	14,524,000	19,340,479	16,038,000	14,320,158
	計	118,138,000	125,332,089	123,247,000	123,456,422
<b>収支</b>			-2,715,761		-10,597,084

3. 活動指標	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
定員（一般型デイサービス）	人	40	40	40	40
定員（認知症対応型デイサービス）	人	12	12	12	12

4. 成果指標	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
利用率（一般型デイサービス）	%	80	81.7	78.7	73.5
利用率（認知症対応型デイサービス）	%	80	82.7	80.8	72.0

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

利用者の希望に沿って入浴サービスを充実させるなど、サービスの向上に努めた。また、地元町会や消防署と共に年2回合同防災訓練を行い事前の危機管理に努めるなど、適切な施設管理を行った。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	必要な事項について適宜区との情報共有がされており、事業計画書や各種報告書等の作成・提出も適切に行っている。また、地元町会や消防署と共に年2回合同防災訓練を行うなど、危機管理に対する意識が高い。全般的に適切な施設運営が行われている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	他施設へ入所・入院等となる利用者が多く、一般型通所介護及び認知症対応型通所介護の利用率が減少した。事業としては、専門職を適切に配置し質の高いサービスを提供できるよう努めるなど、全体的に良好な事業運営が行われた。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	感染症シーズンには日常清掃においても次亜塩素酸を用いるなど、感染症等発生の予防に努めている。また、日常巡回を行い、破損している機器や備品には適宜修繕を行うなど、施設の適切な維持管理に取り組んでいる。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
19 / 20 点	利用者の希望に沿って入浴サービスを充実させるなど、サービスの向上に努めている。利用者満足度調査の結果も、全体の85%以上の方がセンターでの1日に満足していると回答するなど概ね良好であった。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	利用率の減による利用料金収入の減により、収支がマイナスとなった。全体として適切な予算管理がなされているが、より一層利用率及び利用料金収入の向上に取り組むことが望まれる。
(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好  ( 94 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>利用者の希望に沿い入浴サービスを充実させるなどサービスの向上を図った。引き続き利用率の向上・サービスの向上に努める必要はあるが、施設管理は適切に行われており全体として良好な運営がなされている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>一般型及び認知症対応型通所介護の利用率が下がり、利用料金収入が予算額に満たなかった。また、利用者満足度の更なる向上を図る必要がある。</p>